



吉本みつる県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

外敵を防ぐための要塞

■第一・第二海堡とは？

かつて富津岬の前面海域には、3つの海堡(人工島)があった。海堡とは、海に築かれた要塞で、この3つの海堡は、外敵が東京湾に侵入するのを防ぐためのものである。これらは、いずれも明治~大正年間に築造されたが、うち第三海堡は船舶の航行に支障がある——との理由で、のちに撤去された。

現在は、第一・第二海堡が当時の姿のまま残されており、貴重な文化遺産として国の調査が行われたが結論が出ず未活用となっている。

富津市特集



12月定例県議会一般質問

第一・第二海堡を世界遺産に

富津市の新しいリーダーとして県政界で活躍する吉本充(みつる)県議(三期目)は、12月定例県議会でも一般質問に立ち「富津岬前面の第一・第二海堡を世界遺産に——」と提言したほか、県議会の文教常任副委員長として真の教育力を持った学校運営や給食費未納問題への県教育委員会の取り組みについても、県の姿勢を質しました。

富津岬周辺の要塞群 千葉県の新しい観光スポット

吉本 富津岬の前面海域に存在する第一海堡、第二海堡は、世界的にも高度な港湾築造技術を持つ文化遺産である。国は先般、崩落のおそれのある第二海堡を航行船舶の安全を守る意味から、修築工事を実施する方針を打ち出した。どんな工事で、いつ頃終わるのか？
農林水産部長 国の計画は、第二海堡西側の約170mについて、護岸改修を行うという内容で、平成23年に完了の予定である。なお、工事にあたり漁業への影響を最小限とする工法を採用することになっており、地元漁協も了承している。
吉本 海堡など軍事に関する遺跡について、文化庁が

富津地域の道路整備

館山道の全面4車線化を

吉本 道路問題でまず申し上げたいのは、現在国会で道路特定財源について「道路歳出を上回る税収は一般財源とする」との方針が打ち出されているが、私共の地元である南房総地域では観光地における交通渋滞などが深刻化しており、観光立県をめざすには道路整備がまだまだ不十分である。また住民の移動手段は自動車に頼っているのが実情で、新たな道路整備への要望はきわめて高いことを知っている。また、平成19年7月に館山自動車道が全面開通し、富津館山道路とつながったことで、観光振興をはじめ地域住民の利便性は大きく向上した。しかし、君津インターチェンジ以南の区間が片側1車線のため、観光シーズンには交通渋滞が起きてしまい、やはり観光面で大きなマイナスとなっている。この際全面的な4車線化を強く求めたいが、県の考えはどうか？

県土整備部長 君津インター以南35キロの1車線区間については、すでに4車線化用地を確保しており、逐次整備を進めるよう国に働きかけます。

吉本 県道小櫃佐貫停車場は、鹿野山に通じる観光ル

ートとして重要である。富津市桜井地先の拡幅など整備の進捗よく状況はどうなっているか？
知事 桜井地先1・7キロ区間の道路改良工事を現在進めており、今後、国の「地域自立・活性化総合支援制度」を活用するなど、早期完成に努めてまいります。
吉本 国道465号にかかるとる岩瀬橋は、昭和30年にできたもので、50年以上経過した今日老朽化がひどい。県はこの岩瀬橋の架け替えについてどう考えているのか？
県土整備部長 平成19年度から架け替えの検討に入っており、地元自治体と十分協議、調整をしているところである。

吉本 充県議プロフィール

- 略歴
- 昭和31年12月 富津市に生まれる
 - 昭和54年3月 國學院大學卒業
 - 昭和54年4月 富津市役所に奉職
 - 平成8年4月 富津市議会議員に初当選
 - 平成11年4月 千葉県議会議員に当選
 - 平成15年4月 // 再選
 - 平成19年4月 // 3選

- 現職
- 千葉県議会議員(3期目)
 - 県議会文教常任委員会副委員長
 - // 土石採取対策審議会委員
 - 自民党県連組織本部長、議会運営委員
 - 富津市スポーツ少年団本部長
 - 天羽剣志会代表
 - 富津市文化協会会長

県政や富津市のご相談、ご意見を聞かせてください

吉本 充 県議事務所
 〒293-0006 富津市下飯野1114-2
 TEL.0439-80-1885

に応募することも検討すべきでは？
知事 明治期以来の首都防衛に関する歴史を身近に感じられる体験ツアーが想定されるなど、千葉県の新しい観光スポットとして可能性があると思う。国が実施する国土施策創発調査への応募について、地元とも協議のうえ考えたい。

モンスタースタッフには毅然として対応



県議会の自席で再質問する吉本県議

●苦慮する教育現場

増える理不尽な要求

吉本 学校現場における多忙さについては、度々マスコミで報道されているが、昨年度(平成18年度)文部科学省が行った『教員勤務実態調査』では、公立学校の教員の多くが「保護者との対応に追われ、身体的にも、精神的にも疲れ果ててしまふ」という実態が浮かび上がった。

いわゆる(モンスタースタッフ・ペアレント)の存在である。子供の教育について、学校と家庭が協力し合うの

は当然のことといえるが、その実態は(相談とか話し合い)の域を超えた保護者からの理不尽な要求がふえているという。

ある中学校で生徒がふぎけてガラスを割ってしまい、学校では費用の弁償を保護者に求めたが、「子どもが叩いて割れるようなガラスを使う学校が悪い」との返事がなされ、弁償されなかつた。

また、このモンスタースタッフ・ペアレント専門のスタッフを学

●県教委の取り組み

吉本 学校、家庭・地域が連携して教育活動を支える

による徴収など、さまざまな工夫をしている。

県教育委員会としても、給食費は学校給食法の規程により、保護者が負担すべきものであることをふまえて、未納解消に実績を挙げている取り組み事例を各校に紹介するなど、情報提供もしている。今後、学校給食が円滑に実施できるよう市町村を支援していく。

学校・家庭・地域の連携を

ために、県教育委員会は具体的にどのような取り組みをしているのか?

教育長 これまでに、保護者や地域住民、学校関係者が膝をまじえてホンネで語り合う「学校を核とした県内一〇〇〇か所ミニ集会」を開催してきた。

また、『ちび2008年アクションプラン(案)』に「地域とともに歩む学校づくり」を施策展開の核に据えて、取り組みを進めていくことにした。今後は、市町村と

●給食未納問題

困っていないのに払わない! 徴収に苦慮する学校側

吉本 千葉県の学校給食費の未納は、平成17年度約1億5700万円に達しているという。この未納のなかには、当然のことながら「経済的に困窮している」という理由もあるだろうが、文部科学省の調査では「未納の60%は、支払い能力があるにもかかわらず支払わないケ

ース」と指摘している。私の地元である富津市のある小学校では、PTA活動の一環として、役員が給食費の集計を行った結果(未

納者ゼロ)を実現したとのことである。

学校給食費の未納問題については、さまざまな方法が採られていると思うが、その取り組みと成果について尋ねたい。

教育長 県内の各市町村では、未納を解消する取り組みとして、前払い方式の導入、臨時徴収員の配置、夜間・休日を含めた戸別訪問

校に常駐させることも一つの方法ではないか。

これらの問題と対応について、県教育委員会はどう認識し取り組んでいるか?

教育長 今日、学校に対する保護者からの要望が多様化、複雑化するなかで、時として学校にとって対応が難しい要求や理解しがたい要求が寄せられ、その対応に苦慮しているケースがふえていると認識している。

このような場合、クラス担任だけでなく、学校全体で組織的に対応することが大切と考えている。

●12月県議会自民党代表質問

乳幼児医療費の拡大強く要請

12月定例県議会で最大会派自民党の代表質問に、石橋清孝県議(東金市選出、3期)が登壇しました。

石橋県議は、少子化の中、県民要求の強い乳幼児医療費助成事業について、通院医療費助成の対象を小学校就学前までに拡大するよう、県の決断を促しました。

これに対し、植田浩副知事は「10月から助成対象を1歳引き上げ4歳未満とした」と報告。さらなる対象の拡大は必要と認識している」として、本県の厳しい財政状況や他県などの状況を踏まえて「長期安定的に実施するために、所得制限の導入や自己負担額の増額なども視野に入れて調整中」と拡大に前向きな回答をしました。

石橋県議は「負担金や所得制限等の条件はあっても、小学校就学前までに拡大すべき」と重ねて要請しました。

国づくり、地域づくりは(人づくり)から

吉本みつる 県議

千葉県議会の自民党は乳幼児医療を充実します。